



令和 2 年 7 月 3 0 日

枚方寝屋川消防組合

令和 2 年上半期消防統計

本消防組合における令和 2 年上半期（1 月から 6 月まで）の消防統計の速報値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

119 番通報件数、火災件数、救急件数、救助件数がいずれも減少しており、**新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛**により、社会活動が制限されたことが影響していると考えられます。

1 119 番通報について（※交野市を含む）

枚方寝屋川消防組合・交野市消防指令センター全体の 119 番通報件数は 28,610 件で、前年（32,588 件）より 3,978 件減少しました。

2 火災について

火災件数は 71 件（枚方市 44 件、寝屋川市 27 件）で、前年（88 件）より 17 件減少しました。

火災による死者は 2 人（枚方市 1 人、寝屋川市 1 人）で、前年（4 人）より 2 人減少しました。

出火原因は、「電気」が最も多く、以下「放火」、「こんろ」、「たばこ」となっています。

3 救急について

救急出動件数は 16,575 件で、前年（18,548 件）より 1,973 件減少、救急搬送人員は 14,764 人で、前年（16,766 人）より 2,002 人減少しました。

4 救助について

救助事故件数は 114 件で、前年（118 件）より 4 件減少しています。

※ 詳細については別添のとおりです。



【問い合わせ先】

枚方寝屋川消防組合

情報指令課 TEL 072-852-9806

警防課 TEL 072-852-9917

救急課 TEL 072-852-9918

総務管理課（広報） TEL 072-852-9903

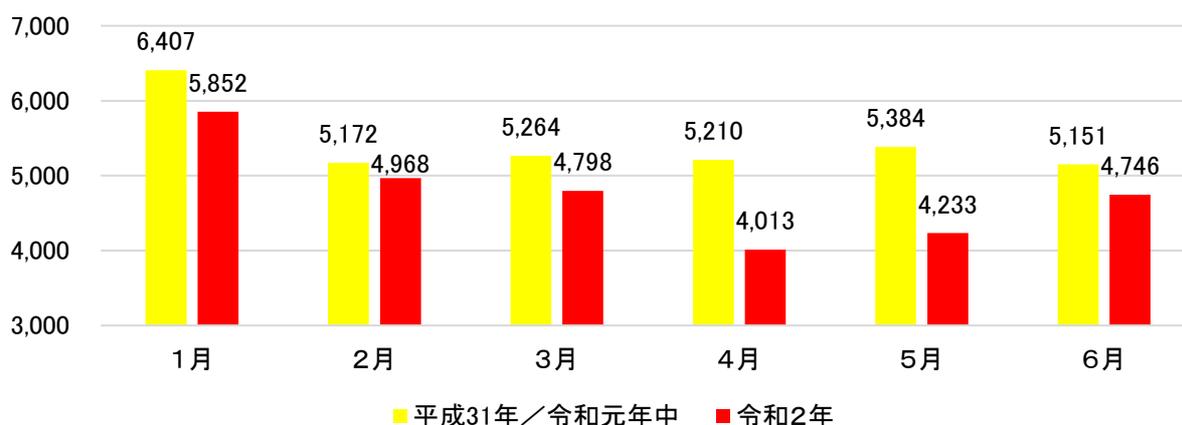
119番通報の主な特徴

1 119番通報は約4,000件減少

令和2年上半期（1月から6月）の枚方寝屋川消防組合・交野市消防指令センター全体の119番通報件数は28,610件で、前年（32,588件）より3,978件（12.2%）減少しています。

※ 平成27年7月から、枚方寝屋川消防組合と交野市消防本部において消防指令業務の共同運用を行っています。

月別119番通報受信件数（前年比）



2 119番通報のうち約6割が救急関係 ※交野市を含む

119番通報のうち、災害事案に関する通報は18,581件で、前年（20,787件）より2,206件（10.6%）減少しています。

119番通報のうち、「救急関係」の通報が最も多く、17,992件で通報全体の約6割を占めています。

また、「各種問い合わせ」、「悪戯」、「間違い」などの緊急性のない通報が9,737件、他市の通報を転送したものが292件となっています。

3 出動指令を出した事案は全体の約6割 ※交野市を含む

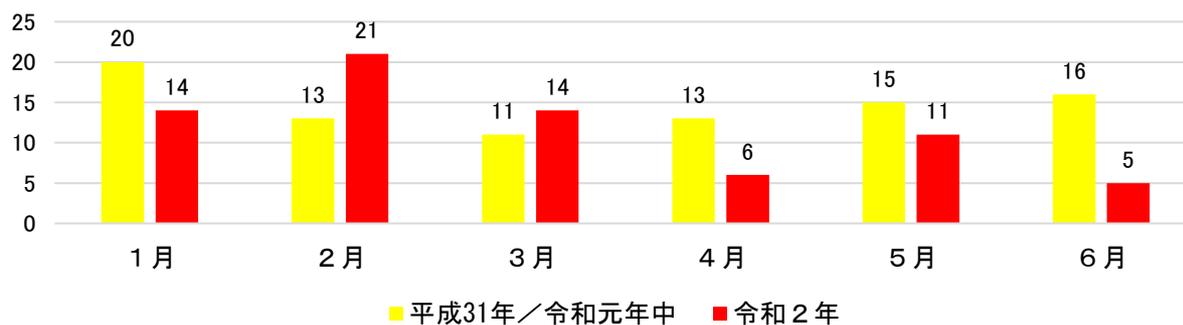
119番通報に対して実際に出動指令を出した事案は18,197件で、通報件数に対する割合は約6割となっており、前年（20,398件）より2,201件（10.8%）減少しています。

火災の主な特徴

1 火災件数は71件で前年より17件減少

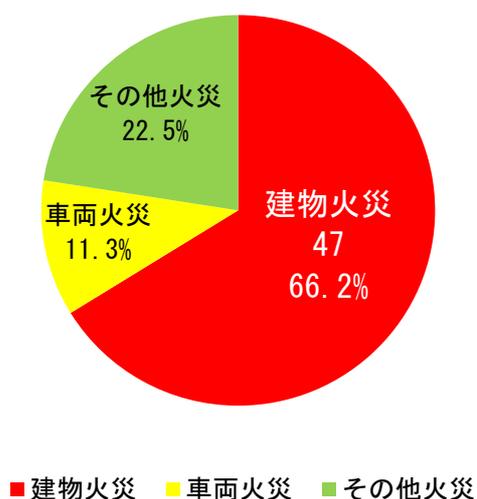
令和2年上半期（1月から6月）の火災件数は71件（枚方市44件、寝屋川市27件）で、前年（88件）より17件（19.3%）減少しています。

月別出火件数（前年比）



火災種別では、「建物火災」が47件（66.2%）、「車両火災」が8件（11.3%）、「その他火災」が16件（22.5%）となっています。

火災種別の構成比



2 火災による死者は2人、負傷者は11人

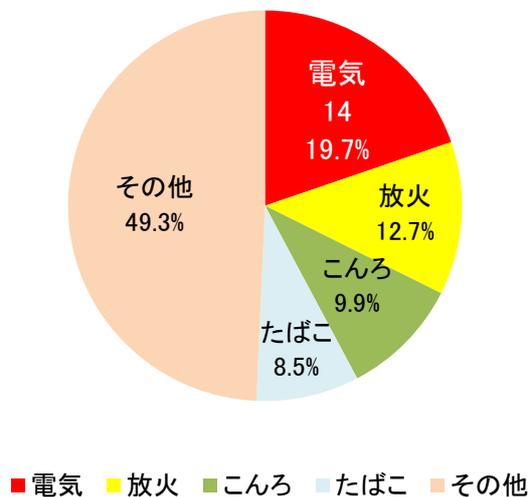
火災による死者は2人（枚方市1人、寝屋川市1人）で、前年（4人）より2人減少しています。

負傷者は11人（枚方市5人、寝屋川市6人）で、前年（65人）より54人減少しています。

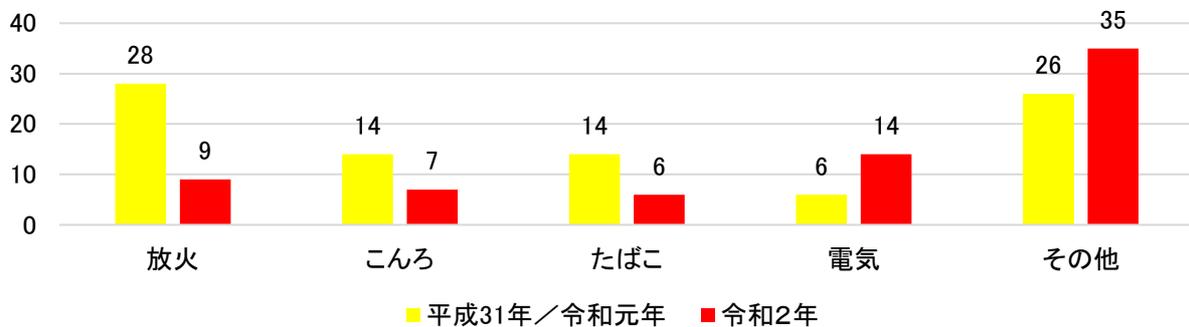
3 出火原因 1位「電気」、2位「放火こんろ」、3位「たばこ」

出火原因別に見ると、1位が「電気」14件（19.7%）、2位が「放火（疑い含む）」9件（12.7%）、3位が「こんろ」7件（9.9%）、4位が「たばこ」6件（8.5%）の順となっています。

主な出火原因の構成比



主な出火原因（前年比）



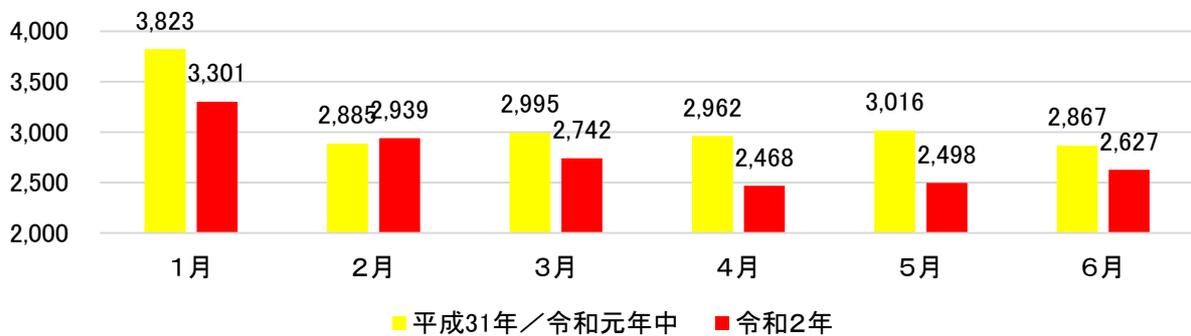
救急の主な特徴

1 救急出動件数は前年より約2,000件減少

令和2年上半期（1月から6月）の救急出動件数は16,575件（枚方市9,874件、寝屋川市6,653件、その他48件）で、前年（18,548件）より1,973件（10.6%）減少しています。

また、救急搬送人員は14,764人（枚方市8,822人、寝屋川市5,913人、その他29人）で、前年（16,766人）より2,002人（11.9%）減少しています。※ その他とは、第二京阪道路、交野市等へ出動した件数です。

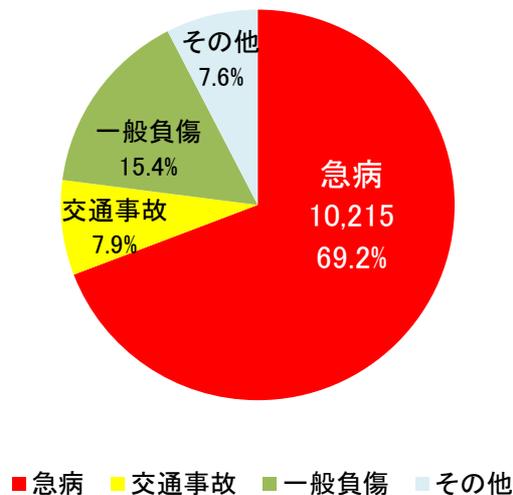
月別救急出動件数



2 事故種別救急搬送 1位「急病」、2位「一般負傷」、3位「交通事故」

事故種別ごとの救急搬送人員は、1位が「急病」10,215件（69.2%）、2位が「一般負傷」2,273件（15.4%）、3位が「交通事故」1,160件（7.9%）の順となっています。

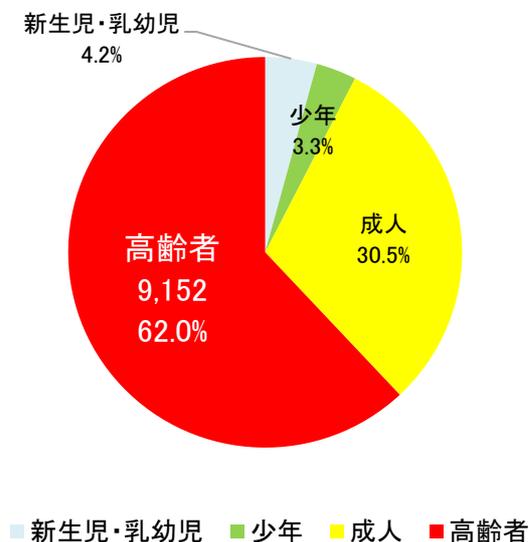
事故種別の搬送人員と構成比



3 救急搬送人員の約6割が65歳以上の高齢者

年齢区分別による搬送人員は、65歳以上の高齢者が9,152人で、全体の約6割を占めています。

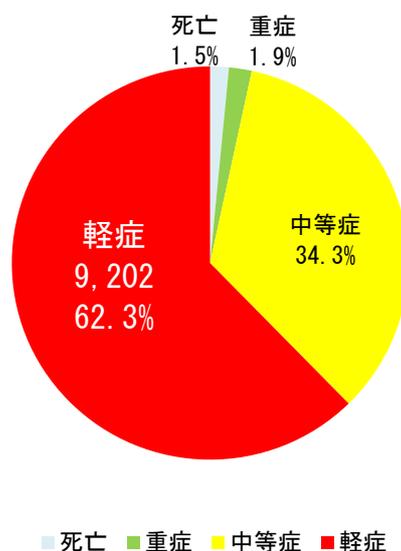
年齢区分別の搬送人員の構成比



4 救急搬送人員の約6割が軽症者

症度別による搬送人員は、軽症者が9,202人で、全体の約6割を占めています。

年齢区分別の搬送人員の構成比

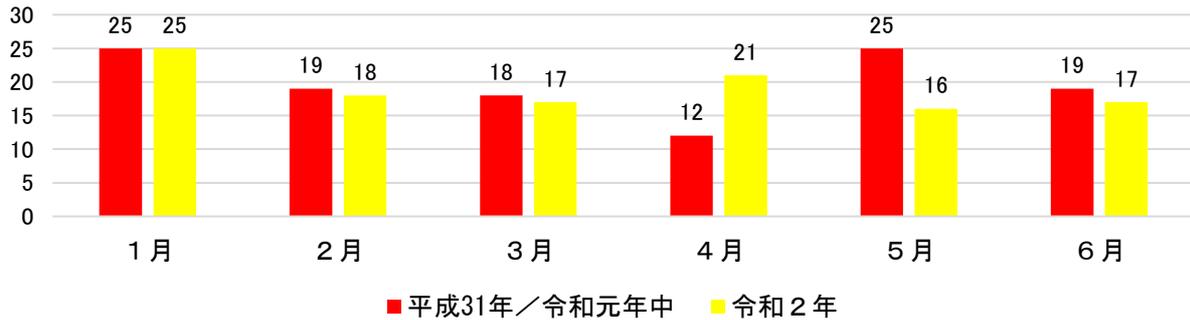


救助の主な特徴

1 救助出動件数は4件減少

令和2年上半期（1月から6月）の救助事故件数は114件で、前年（118件）より4件減少しています。

月別救助出動件数（前年比）



2 救助人員は前年と比較して12人の増加

令和2年上半期（1月から6月）の救助人員は61人で、前年（49人）より12人増加しています。

3 事故種別救助事故件数 1位「建物等の事故」、2位「火災」、3位「交通事故」

事故種別ごとの件数は、1位「建物等の事故」29件（25.4%）、2位「火災」28件（24.6%）、3位「交通事故」16件（14.0%）の順となっています。

事故種別の救助出動件数と構成比

